

市役所ではたらく



市役所の仕事ってどんなものがあるか皆さん知っていますか？「市役所は年に1回行くか行かないくらい」という人や「1回も行ったことがない」という人もいるかもしれません。

市役所にはいろいろな業務があり、さまざまな人が働いています。しかし近年は景気の影響などで、年々市役所勤務を志望する人が減少しています。今回はいなべ市役所の若手職員から、就職した経緯や実際に公務員として働く感想を聞きました。



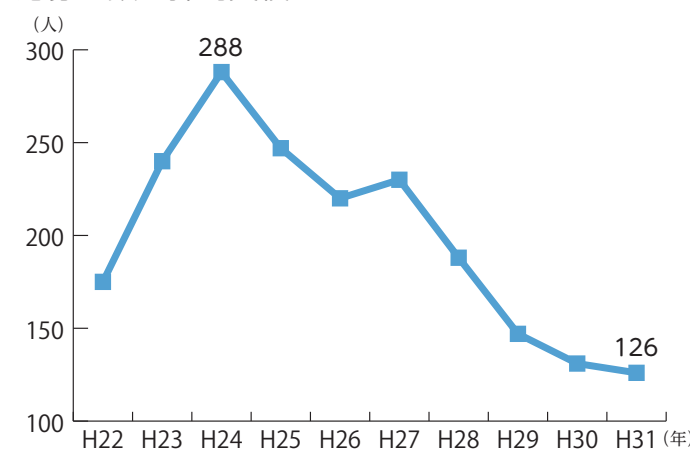
いなべ市役所の年代別職員数

(令和2年1月現在)
※保育士や関係施設の職員含む

年代	人数
10代	2人
20代	51人
30代	61人
40代	121人
50代	113人
60代	23人

採用試験に関するデータ

応募者数と採用実績



	H27	H28	H29	H30	H31
採用人数	17人	15人	18人	11人	17人



鈴木 結さん

いなべ市大安町出身。24歳。
大学時代に栄養士の資格を取得。
平成30年に入庁し、教育総務課を経て、現在は健康推進課に所属。



職員になってもうすぐ2年が経過する鈴木さん。栄養士の資格を取るために兵庫県の大学で学びました。就職活動のときには、どこの地域で働きたいという希望はなかったそうですが、家族にいなべ市役所の採用試験があることを聞き、「地元」という安心感から応募したそうです。

鈴木さんは、栄養士の資格を活かして仕事をしたいと思っていました。現在の健康推進課では、その知識を活用して、離乳食教室の講師や育児相談で、栄養に関する質問に答えています。

講師としての話し方や相談のときの接し方など、先輩の姿を見て仕事のこつを覚えました。人前で話すことが苦手なため、離乳食教室の講師を務める前には、家でシミュレーションを行うなどして業務に取り組んできました。

離乳食教室では少し緊張しながらも、落ち着いて一生懸命に話をしようとしていた鈴木さん。自分のやりたいことにひたむきに向き合う姿が見られました。



嬉しかったこと

講習や相談で自分の伝えたいことを相手に理解してもらえたとき。

これからの目標は

多くの人の前で話すことに慣れていないのでもっと経験を積んで、講習会で上手く話せるようになりたいです。

主な担当業務

- ・ 離乳食教室
- ・ 2歳児歯科教室
- ・ 育児相談
- ・ 成人対象の健康教育 (糖尿病・骨粗しょう症教室)
- ・ 歯周病検診の事務 など

谷口 詢弥さん

いなべ市藤原町出身の24歳。平成30年に入庁し、農林課（旧農村整備課）に所属。今年度末で2年が経過する。



農業用施設の維持管理や、農村地域の環境保全事業を担当する谷口さん。大学では地域振興を専攻していたため、地元であるいなべ市役所での就職に迷いがありませんでした。

谷口さんの働く農林課は、農地や農業用施設の維持管理を行っています。いなべ市は広い農地がたくさんあるため、農林課は市役所の中でも市民からの要望が多い部署の1つです。入庁してから1年半が経ち、地元の人との関わりの中で要望に応えられたときに喜んでもらえることが充実感につながっているとのことでした。



働き始める前は「公務員は決まったことを守りながらマニュアルに沿って働く」とイメージしていたそうです。今では考え方が変わり、「決まりごとの中で、自分で考えて工夫することが楽しくてやりがいになっています」と話していました。

工事業者と打ち合わせを終えたあと、「まだ分からない専門用語もたくさんあるんですけどね」と笑顔で話し、新たな知識について学ぶことを楽しんでいる様子が垣間見えました。

仕事の楽しさ

経験のない分野でも学んで成長しながら働けること。

これからの目標

地域の声をしっかり聞いて、行政として良い提案が出来るように、自分の知識を高めていきたい。

主な担当業務

- ・ 農業用施設の維持や修繕
- ・ 農地および農業用施設の災害復旧対応
- ・ 多面的機能支払
- ・ 中山間地域等直接支払
- ・ 農道の管理
- ・ ため池の管理 など

内田 良麻さん

菰野町出身の31歳。大学は石川県だったが、地元に近い場所での就職を考え三重県に帰省。平成24年に入庁。環境部、広報秘書課を経て、現在は職員課に所属。

主な担当業務

- ・ 職員の人事評価
- ・ 給与支払い事務
- ・ 職員互助会共済制度関連事務 など



大学生のときから実家に近い場所で働くことを考えていて、他の市町と違って早い時期に採用試験が行われていたことから、いなべ市役所を目指した内田さん。

入庁後は仕事内容や分野の異なる3つの部署を経験。部署が変われば仕事に対する考え方が違い、自分の視野が広がる。それが公務員という仕事の良いところだと話していました。

「これからも幅広い経験を通して視野を広げていけば、吸収できることが増えていく。部署の連携が必要なときにつなぎ役として尽力したい」と市役所全体をイメージしながら業務に取り組んでいました。



小林 真歩さん

いなべ市大安町出身の19歳。平成31年に高校を卒業後に入庁。政策課でまちづくりに関わっている。

主な担当業務

- ・ 楽器寄附のふるさと納税・総合計画
- ・ 市と高校生との交流事業 など



中学生のときに公務員という仕事について親から聞き、興味を持った小林さん。高校在学中に市と高校生との交流事業に積極的に参加し、いなべ市役所を志望しました。

自分より若い世代の人と関わるのが楽しいそう。「ふるさと納税で寄付された楽器を中学生に渡したときにとても喜んでくれたので、自分も嬉しかった」とのこと。

「まだ1年目で、今は仕事を覚えるのに精一杯」と話していましたが、にぎわいの森を紹介する広報誌に出演するなど即戦力として活躍しています。



職員採用に関するよくある質問

Q 求める人物像はありますか？



A いなべ市を大切に思い、いなべ市のために頑張ろうとする人を求めています。また、常にスキルアップしようとする向上心を持ち、課題を見つけ解決しようとする行動力のある人と一緒に働きたいと考えています。

Q 1次試験の対策方法ありますか？

A 教養試験は、出題範囲が広いので、大変かもしれませんが、事前に準備と対策をしっかりとしていただくと合格につながります。中には、試験の3カ月前から勉強を始めて、高得点を取った人もいます。まずは、難しいと思わずに、参考書などで試験内容を確認してみてください。

Q 受験するために特別な資格は必要ですか？

A 特に必要ありません。専門知識がなくても、研修制度が充実しているため、一から学ぶことができます。また、先輩が親切丁寧に仕事を教えてくれるので、心配せずに、仕事を覚えることができます。



Q 職場の雰囲気はどうですか？

A いなべ市は働きやすい職場だと思います。実際に職員に聞くと、「休暇制度がしっかりしていて、取得しやすい」「親切な人が多く働きやすい職場だ」という声が多いです。



職員採用説明会

いなべ市では職員採用説明会を実施しています。職員課による試験に関する情報提供のほかに、若手職員が出席していなべ市役所の良いところをPRしています。毎年多くの参加者が集まり、好評です。



参加者の声



職員の人たちが生き生きと明るく話されていて、職場の雰囲気がとても良いと感じました。いなべ市に貢献できるよう働いてみたいと思うことができました。

実際に働いている人の生の声が聞けたので、とても有意義な時間でした。いなべ市を知る良いきっかけになりました。



今年の説明会の日程はコチラ

- 日時 4月18日(土) 9:30～12:00
- 場所 いなべ市役所シビックコア棟2階
- 内容 採用試験の説明、給与・勤務条件市の概要、先輩と本音トーク

- 申込方法 ホームページの申し込みフォームまたは職員課へ電話で応募
- 職員課
- T 86-7792



令和2年度いなべ市の職員採用スケジュール

4月18日

・職員採用説明会

12月

・内定者交流会
内定者同士や職員との交流会を行います。

6月28日

・前期採用試験
4月中旬受け付け開始予定

令和3年3月

・入庁説明会
配属先の決定や入庁に必要な手続きの案内など

9月20日

・後期採用試験
7月上旬受け付け開始予定

令和3年4月

・入庁

※採用に関する応募などの詳細は、3月にホームページでお知らせします。

※採用情報はホームページのほか、随時Linkでもお知らせします。

働く魅力について発信！！ <いなべ市役所をPR>

インターンシップ

インターンシップで学生を受け入れて、公務員の仕事を体験してもらうとともに、いなべ市役所の雰囲気を感じてもらっています。参加した学生に好評で、いなべ市の採用試験受験に繋がっています。

大学やイベントでのPR活動

大学の就職説明会でブースを設置して呼びかけるほか、今年は成人式で就職を考えている新成人に向けて、地元で働き、地域に貢献してもらうきっかけ作りを行いました。



成人式でのPRの様子

年数	人数	受け入れ部署
H29	3人	職員課・広報秘書課
H30	6人	政策課・商工観光課
R1	7人	保育課・生涯学習課